



2012年3月期 連結決算及び事業概要

株式会社マルハニチロホールディングス

代表取締役社長 久代 敏男

2012年5月14日

1 2012年3月期連結決算の概要

2 2011年度事業別環境の概略

3 2011年度の事業トピックス

4 事業環境予測と業績予想

1-1. 2012年3月期 実績

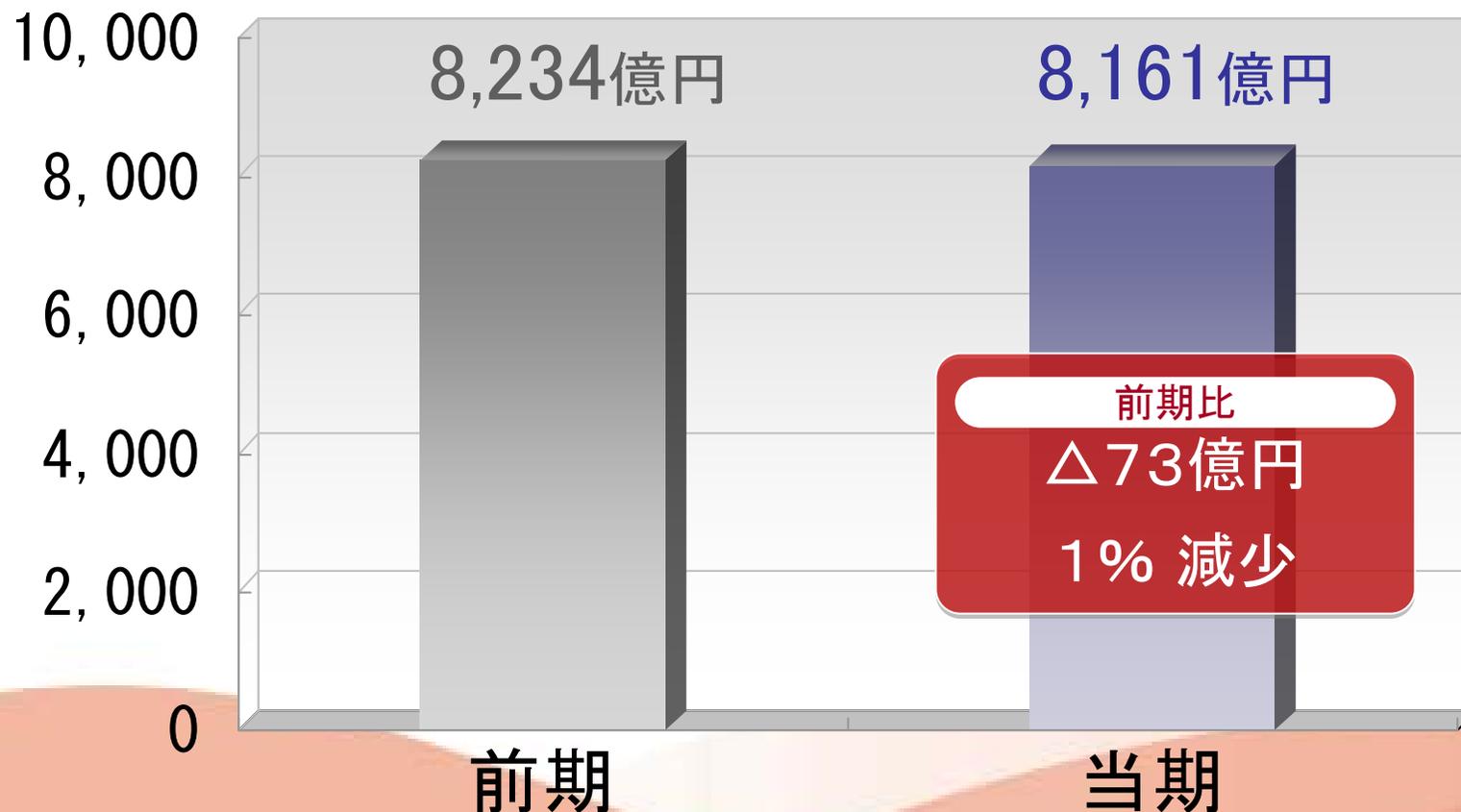
単位:億円

マルハニチログループ 2012年3月期					
	実績	計画	前期		
売上高	8,161	8,250	8,234	前期比	99%
				計画比	99%
営業利益	164	160	174	前期比	94%
				計画比	103%
経常利益	149	130	151	前期比	99%
				計画比	114%
当期利益	34	40	36	前期比	94%
				計画比	85%

1-2. 2012年3月期 売上高

売上高

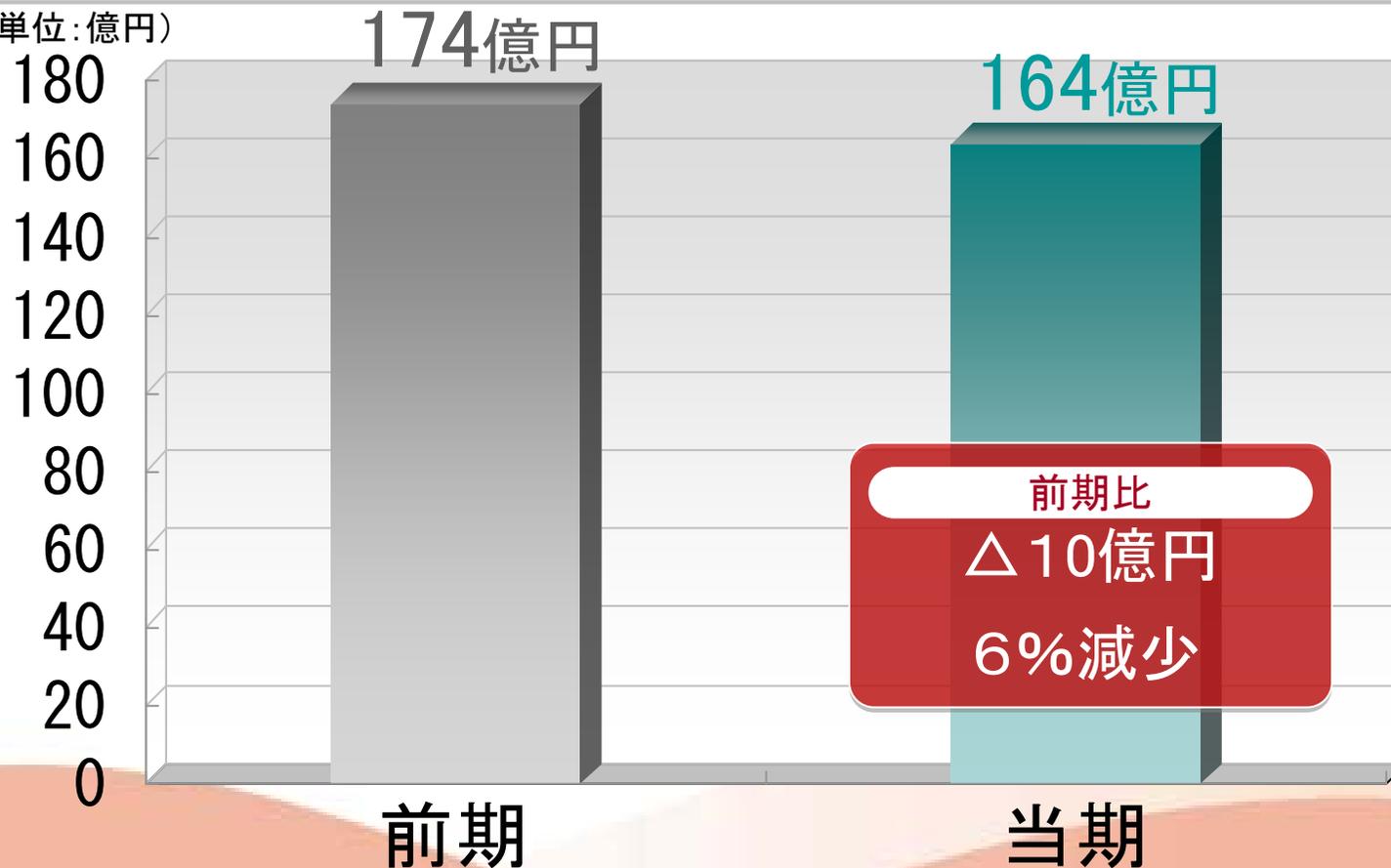
(単位: 億円)



1-3. 2012年3月期 営業利益

営業利益

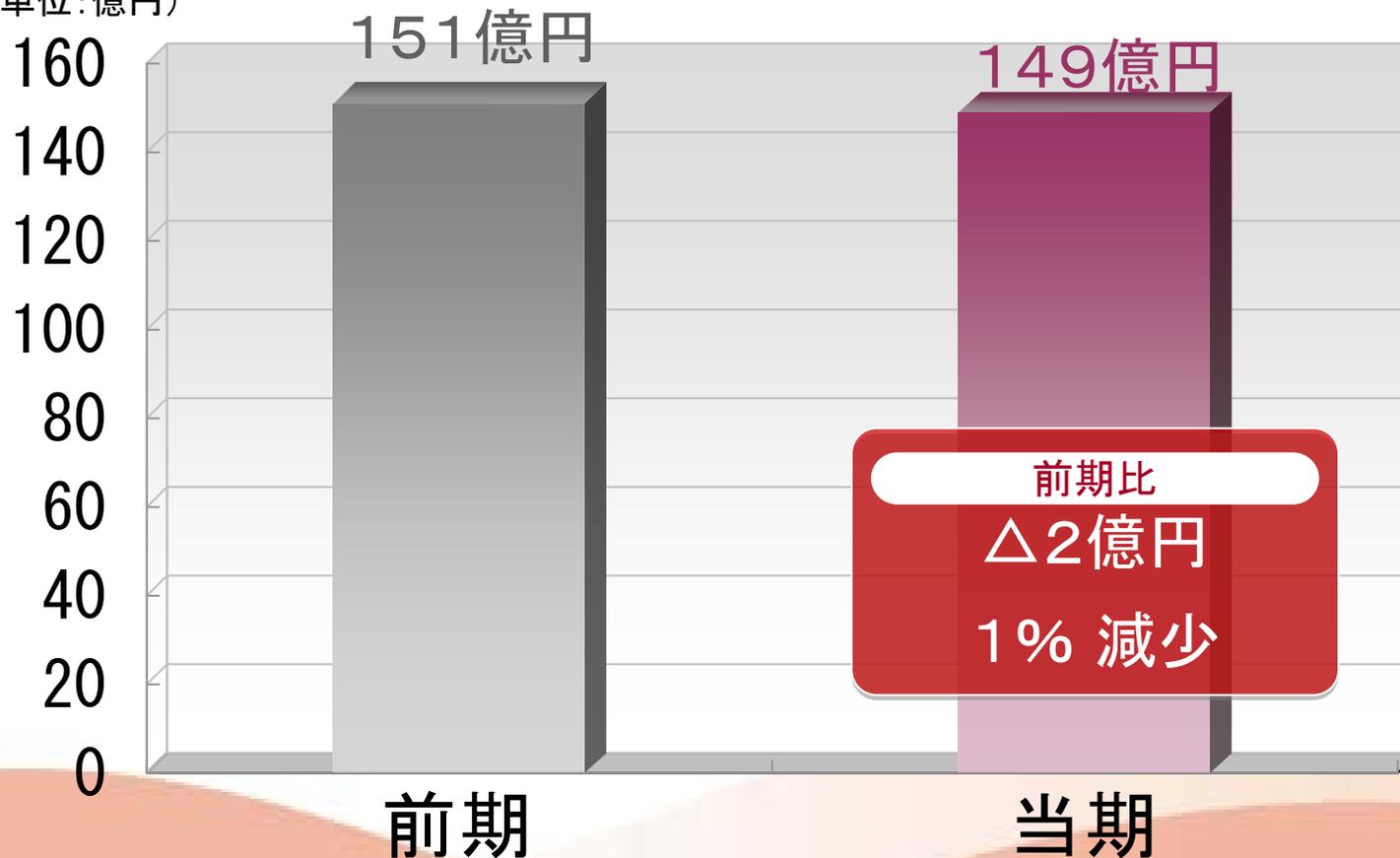
(単位: 億円)



1-4. 2012年3月期 経常利益

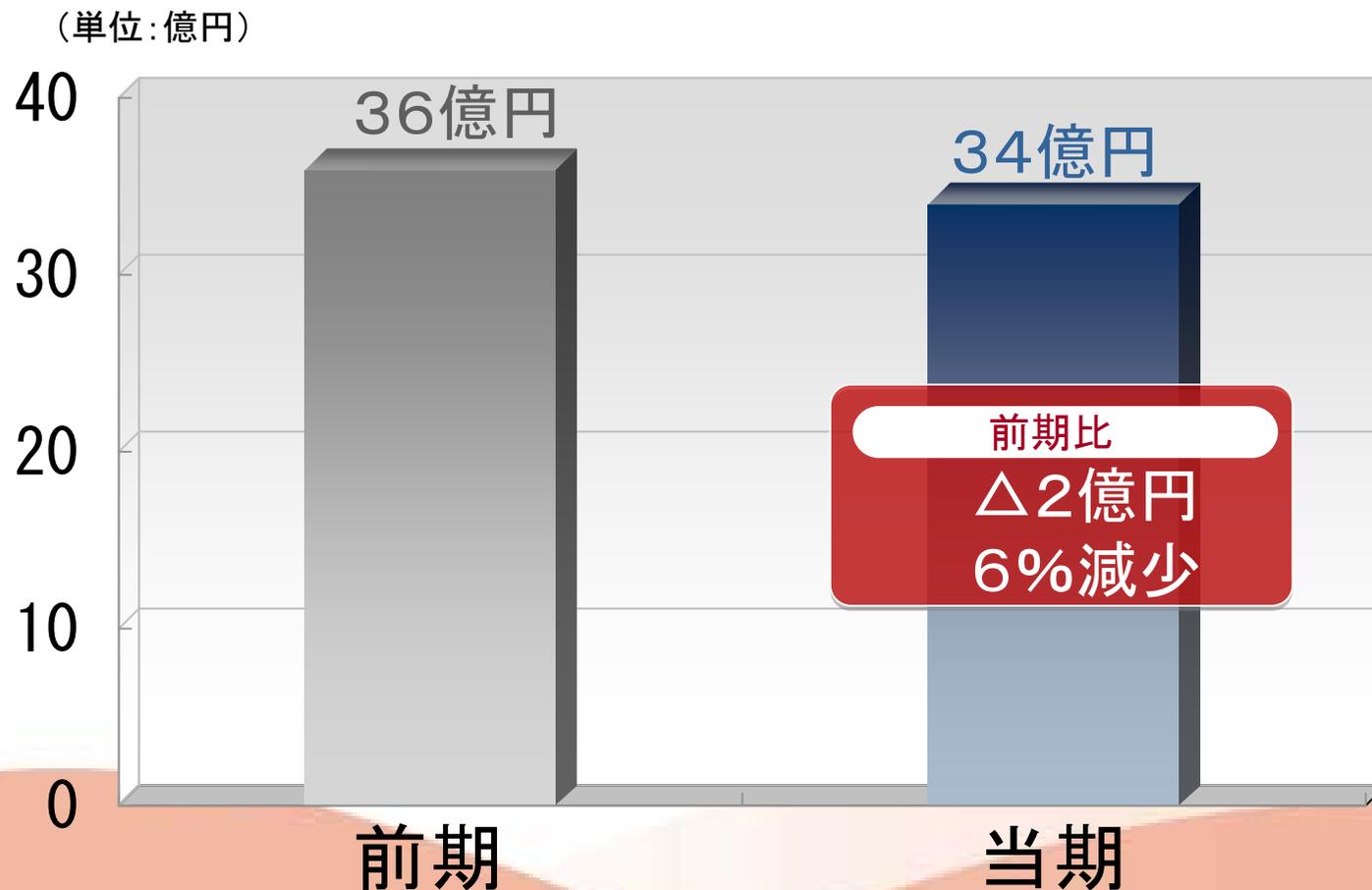
経常利益

(単位: 億円)



1-5. 2012年3月期 当期利益

当期利益



2. 事業別環境の概略

健闘した事業

養殖事業
水産商事
戦略販売
化成品事業
アジアセニア事業

- ⇒ 魚価が概ね高水準で安定
- ⇒ 震災後の特需、円高
- ⇒ 量販向け強化、外食・中食伸長
- ⇒ バイオ事業好調
- ⇒ 日・米・豪向け缶詰・冷食好調

苦戦した事業

漁業事業
荷受事業
加工食品事業
畜産事業

- ⇒ 漁獲不振など
- ⇒ 仕入高と消費低迷
- ⇒ ペットフード、デザート原料高騰
- ⇒ 輸入コスト上昇、売価低迷

3. 2011年度の事業トピックス

4月 ⇒ (株)MNリテールサービス設立 (北州食品(株)・新洋商事(株)合併)

9月 ⇒ 土谷食品(株)ゼリーライン増設

12月 ⇒ (株)マルハニチロ上ノ国海産設立 (ナマコ養殖・輸出)

2月 ⇒ (株)大洋食品 助子加工工場設置
太洋冷蔵(株)閉鎖に伴う代替生産工場

3月 ⇒ (株)下関漁業 新船竣工
以東底曳網漁業船 第三・第五やまぐち丸

4-1. 2012年度事業環境予測

漁業・養殖

漁獲量回復は不透明。養殖魚の魚価は軟化。

北米

助宗鱈Aシーズンは順調推移。すりみ需要高い

水産商事

国内デフレに対し、国際市況高水準続く。

冷凍・加工食品

消費傾向の変化限定的。原材料費は上昇基調。

畜産

国際市況は強含むが、国内価格競争は激化。

化成品

震災特需剥落。原材料・電力コスト上昇。

アジア・オセアニア

ツナ・エビなど原料コスト、労賃上昇懸念。

4-2. 次期の重点施策(水産事業)

- ◆ 調達力の強化
- ◆ 海外加工機能の強化
- ◆ 国内市場における販売力の強化
- ◆ 海外市場の販売ネットワークの拡充
- ◆ 品質管理体制の整備・強化

4-3. 次期の重点施策(食品事業)

◆冷凍食品・加工食品事業

事業効率化によるコスト削減、商品開発力向上、介護食育成継続
ヤヨイ食品の子会社化による業務用冷凍食品事業の強化

◆畜産事業

資源アクセス力強化、成長商材拡販、業務効率化

◆化成品事業

フィッシュコラーゲン、DNA、DHA・EPAの海外拡販

◆アジア・オセアニア事業

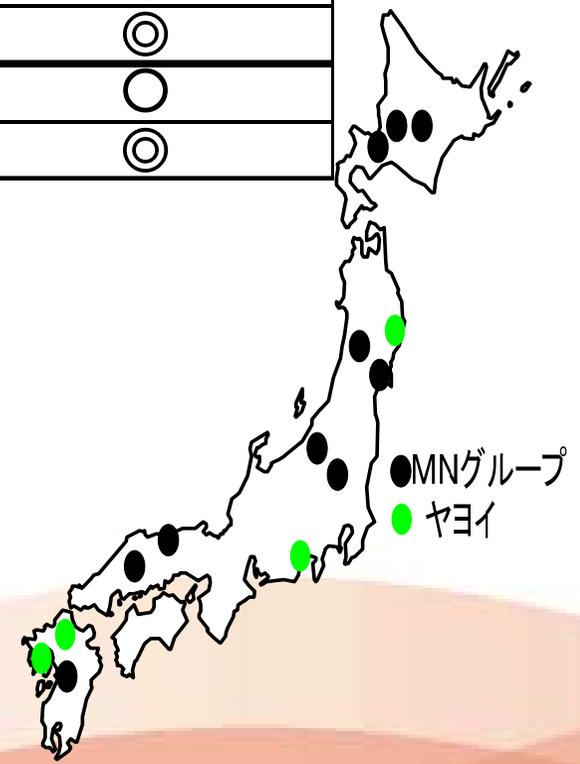
海外新規市場の開拓、中国・東南アジア現地法人再編

4-4. ヤヨイ食品

業態		MN食品	アクリフーズ	サンフーズ	ヤヨイ食品	MNグループ+ヤヨイ
外食	全般	○	○	×	○	○
	学校・産業	△	△	○	◎	◎
給食	介護	◎	×	×	○	◎
	惣菜	○	×	△	◎	◎
中食	CVS	×	○	○	△	○
	生協	◎	△	△	×	◎

得意カテゴリー

MNグループ	ヤヨイ食品	MNグループ+ヤヨイ
水産調理品	畜産加工品	水産調理品
農産調理品	調理品(惣菜)	畜産加工品
米飯、麺	卵関係	農産調理品
		調理品(惣菜)
		米飯、麺
		卵関係(オムライス等)



4-5. 2013年3月期 業績予想

	13年3月期計画(億円)		12年3月期
	中間期	通期	実績
売上高	4,050	8,400	8,161
営業利益	75	165	164
経常利益	65	145	149
当期純利益	70	100	34

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料の著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します。

世界に美味しいしあわせを



MARUHA NICHIRO